

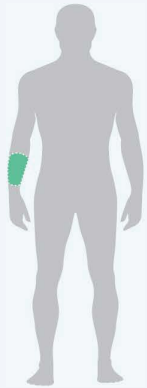
# RECELL<sup>®</sup>と自家網状植皮を併用し、全層熱傷の完全再上皮化が術後7日以内に完了

**CASE STUDY** / Jeffrey Carter, MD / University Medical Center, New Orleans, LA

## 患者の状態

火炎による15% TBSAの混合深度熱傷を受傷した63歳男性。本症例では、2:1網状分層植皮 (STSG)とSpray-On Skin<sup>™</sup>Cellsを併用した左前腕の全層熱傷に対するRECELL治療に注目する。

## RECELL 治療部位



## 結語

本症例では、網状植皮の上からRECELLを使用する事により、術後7日には全層熱傷の上皮化が完了したことが示された。12週目に実施したPOSASIに従った患者による瘢痕評価では通常の皮膚に非常に近いという評価がされた。



(A) 自家植皮後

(B) 術後2週

(C) 術後4週



(D) 術後8週

(E) 術後12週

## 治療法

この患者の治療は、前向き観察試験の一環として実施された。熱傷創のデブリードマンを行った後、腕に2:1網状STSGの移植を行った(図A)。RECELLシステムでSpray-On Skin<sup>™</sup>Cellsを作成し、移植した網状STSGの上から適用。治療部位の被覆にはTelfa<sup>™</sup>Clear、その上からXeroform<sup>™</sup>及び厚みのあるドレッシング材を使用した。

## 臨床的アウトカム

RECELLを使用した治療から7日後、創部は完全に再上皮化した。時間と共に更なる改善が確認され(図B-D)、患者と観察者による瘢痕評価(POSAS)を使用し、術後12週の評価を行った(図E)。疼痛、掻痒感、皮膚の硬さ、瘢痕の盛り上がり、異常性について、患者は「全く無し」というスコアを付けた。

本紙に掲載している症例は、臨床成績の一部を紹介したものです。全ての症例で同様の効果を保証するものではありません。

製造販売元

**COSMOTEC**  
 コスモテック株式会社

RECELL専用サイト



製造元

**avita**<sup>medical</sup>